

# 平成30年度 城北畑小学校 研究推進計画

## 1. 研究主題

いきいきと伝え合い、友だちとつながる外国語の授業づくりについて

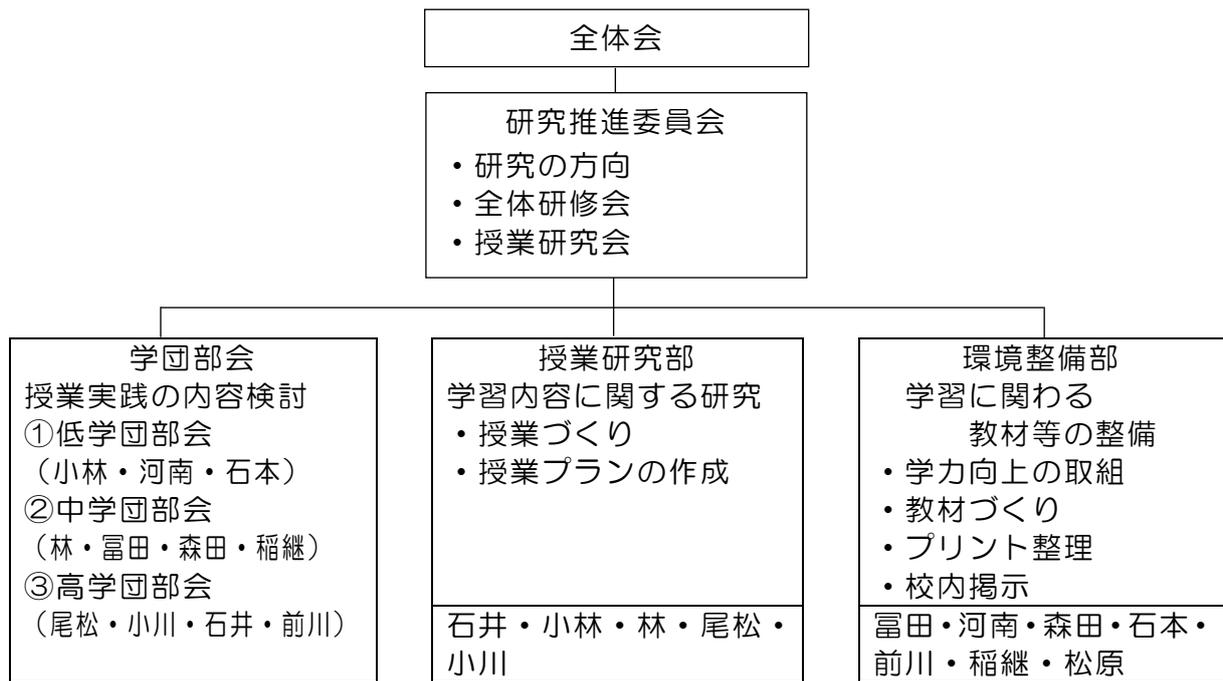
## 2. 研究主題設定の理由

昨年度はマイクロティーチングを中心にした校内研修をおこなってきた。具体的な授業イメージをつかめてきたこと、研修スタイルが確立してきたこと、児童が休み時間に英語を使って楽しむ姿がみられることなど成果があった。しかし、新学習指導要領の完全実施に向け、新教材の扱い方、研修の深化が必要だと考えている。

今年度は次期学習指導要領への移行1年目として、低学年10時間、中学年15時間、高学年50時間の外国語活動の授業をおこなう。主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善をおこないながら、生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養という三つの資質・能力をいかに育成していくか、また、それらの資質・能力をどのようにみとるかということについても考えていく必要がある。

すべき課題は多くあるが、何よりも外国語を通して、児童がいきいきと伝え合い、友だちとつながる喜びを実感できる活動をつくりあげていきたいと考えている。

## 3. 研究組織



## 4 研修の進め方

### (1) 研修日 木曜日

- ・全体研修会（授業研究会、アクティビティ研修、理論研修会）
- ・専門部会（各専門部の領域毎に方向性の検討、作業）
- ・学団部会（学団毎の指導案検討など）※学団部会は必要に応じて適宜開催する。

### (2) 研修内容

- ・主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善（指導方法、授業案計画・作成等）
- ・新教材の活用について
- ・先進校視察